

トルコ旅行記 : 未知との遭遇を求めて

M35 斎藤 富茂

平成23年11月に10日間の旅に出た。日頃の身近な情報の中からエギゾチックとロマンに心惹かれてトルコ共和国を選んだ。家族付き合ひのある4家族で話がまとまって、市販ツアーコースの一つを選択した。添乗員・ガイドを入れて30名で国内の西半分を、胸をときめかせて巡った。(約2500Km) 共和国建国後、間が短く(約90年) 国中に若さ・明るさ・パワーを感じた。この地域における人間の営みは、8000年前まで遡るものが発見されており、メソポタミア文明発祥地の一部を占めている。世界遺産登録物件が多いが、他にも民族興亡の歴史を物語っている遺産が随所に見られた。トロイ遺跡の地層断面を見ると9層になっており、今も順を追ってどんどんと発掘を続けている。訪問した先の市民と気さくに、挨拶を交わして対話することも、楽しかった。相手は片言の日本語を使うことを楽しんでた。こちらも俄か仕込みのトルコ語と手振りを交えて対応し、気持ちを通じ合うことができた。

記念碑を見て

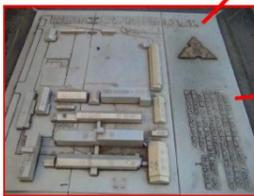
M38 藤田 稔

昨年末、職場の忘年会を近鉄四日市駅西の居酒屋で行いました。待ち時間があつたのでメンバーの一人が四工の跡地を見に行こうと言ったので、その意味がわからないまま言いだした。その後ろに付いてぞろぞろと！当該地に到着してびっくり、卒業生として恥ずかしながら立派な母校跡地記念碑がつけられていたのですね。15人くらいのうち同級生は3人。他の県外からの人達からは、こんな町のこの繁華街にある高校って珍しいいな！これでは、お前ら、絶対素直に家には帰っていないよな！駅へ行く通行人や女高生に迷惑ばっかし掛けとったんやろう！当時の寂れた駅裏を知らないからそんな風に感じたのも当然だろう。改めて、社内の別の同窓生に聞いたら、多くの人が跡地記念碑があることを知らなかったよ。年が明けてから見に行ったらどうなるか。僕も後日、改めて家内を連れて見に行つたが、当時を思い出し、なんだか

四日市工業高校 記念碑



2011-12-28撮影



ベリーダンスショー見学の会場で、飛び入りで舞台で踊る人を募つたので、手を挙げて参加し、他の参加者戸と共に楽しんだ。現地を案内してもらつたガイドとバスターライバーに、名前に漢字を当て嵌めて意味も添えて手渡した。名前忘れ防止の為に遊び心で始めたことであつたが、喜ばれて、お互いの心を更に近づけてくれました。政教分離体制であるが、99%がイスラム教徒で、日々の活動の中に礼拝(5回)があり、コーランが生きています。村単位にモスクがあり、規律も受け持たされている。人々の明るさの源は、心の憶測のよりどころとして、立っているところが同じである点にあると思う。強行軍の中、未知と対決してゆきながら、助け合ひで楽しく進んでゆくことを体験でき、うれしく、胸を撫で下ろしています。

ーンと感じてしまった。隣で家内が苦笑していたが。皆さんの中で、まだ見ていない人がいたらどうぞお出かけ下さい。

クラス会通信

傘寿記念同級会開催

M25 太田靖治

私達昭和24・25年機械課卒業のクラス会は、「つくしの会同級会」と称し、平成に入ってからでも7回(約3年に1回)お互いの健康を確認しあう懇親の集いを、或る時は宿泊で、或る時は日帰りで行つてきたが、今年傘寿(80歳)を迎える年代になり「傘寿記念同級会」を去る6月29日(水)四日市シティホテルで35℃を超える猛暑日の中、11名のクラスメートが参集、既に他界された物故者(27名)に黙祷・合掌をした後、

若く前向き！クラス会

M32 嶋名堆巨

H23年11月26日、川崎先生をお迎えして「ロワジール・たまゆら」で開

催された。写真をよく見ていただく判るが、今回は幹事伊藤(英)さんの粋な計らいでグローバル女性3人が加わつた。お陰でクラスの皆様も若く前向きな話題で大いに盛り上がった。



平成23年度 鶴ノ森同窓会機械部会支部 収支決算書

H23年4月1日～H24年3月31日 (単位円)

Table with 5 columns: 日付, 摘要, 収入, 支出, 残高. It lists financial transactions for the fiscal year ending March 31, 2024, including items like '前年度繰越金', '預金利息', '総会費', '本部より祝金', '樽会館支払', '樽神社折掛料', '機械部会旗竿', '東日本震災義援金', '切手', 'コピー', '見学先手土産', '新年会費', '新年会 ジャブ支払', '切手、コピー、郵送', and '預金利息'.

*1 総会当日の義援金 15,259円と合わせて 25,259円を中日新聞社へ預託しました。

Summary table showing '残高内訳' (Residual Balance Breakdown) with '預金' (Savings) at 200,064, '現金' (Cash) at 75,424, and a '合計' (Total) of 275,488.

上記のとおり報告します。

平成24年3月31日 会計 大島光昭

平成24年3月31日

平成23年度の帳簿及び通帳残高を監査したところ、適正に処理されていたことを認めます。

監査 古川正勝 監査 奥村吉孝

至つて涼しい部屋でホテル・料理長自慢の献立を美酒と共に舌鼓、60数年前の戦後まもない頃の追分や浜田(鶴の森)の学舎で学んだ少年時代に想いをいたし、学舎を巣立ってから荒廃した日本そして、経済の復興、企業基盤の基礎造りと苦勞を重ね時代を共有しながら夫々の人生を歩み、今日、元気で傘寿を迎える年代になり、何よりも同慶の限りで、これからの人生、次の吉祥、米寿に向け、日々健康管理に精進し、そして夫々の立場で幾らかかでも地域社会に貢献出来るよう、お互い頑張つて行こうと誓い合ひ次回の再会同級会の集いを締めくくり

